

H28

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	91 その他					重要度	B		
番号・取組事業名	91001	門松カード配布事業の見直し		作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31		
担当部署	140800	都市部 公園緑政課		責任者	佐藤 誉		担当者	内埜 裕子	
取組年度	H28	～	H28						
効果	歳出削減								
最終目標	松林の保全を目的とした門松カードの役割は達成された為、また、柏市の厳しい財政状況を鑑み、毎年全世帯に配布してきた門松カードの作成・配布事業の縮小或いは廃止を行う。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	完了 (事業終了)	門松カード配布事業の縮小(配布枚数の段階的な削減)を行った。							
平成29年度									
平成30年度									
平成31年度									
平成32年度									
成果指標	指標名	門松カードの配布に係る事業費					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		76	66	56	46	36	36	
	実績値	94	39					0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額	94	18	28	38	48	58	190
		変更計画額							0
		実績額		55					55
計	当初計画額	94	18	28	38	48	58	190	
	変更計画額		0	0	0	0	0	0	
	実績額		55	0	0	0	0	55	
見込まれる その他効果 (金額以外)	門松カードの配布方法(全戸配布を中止)変更により事務手続きの効率化を実現できる		同左	同左	同左	同左	同左		

H28

アクションプラン(平成28年度)

推進項目	91 その他				重要度	B			
番号・取組事業名	91001	門松カード配布事業の見直し	作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31			
担当部署	140800	都市部 公園緑政課	責任者	佐藤 誉	担当者	内埜 裕子			
	区分	取組内容・目標							
平成28年度	完了 (事業終了)	門松カード配布事業の縮小(配布枚数の段階的な削減)を行った。							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	門松カードの配布先及び配布部数削減の告知を町会等へ向けて行う。					○			
2	広報誌, 市HPにて配布告知及び配布を行う。					○			
3	問い合わせ件数, 利用部数等の集計を行う。						○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	完了 (事業終了)	コメント	事業見直し開始から6年経過した実績により, 今後数年は今年度と同程度の印刷枚数で対応する。 印刷枚数削減により予算削減がされたため, 今年度で事業完了とする。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	門松カードの配布に係る事業費	計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
		達成状況【成果】	達成	コメント	76		39		
		進捗状況【活動】	完了 (事業終了)		事業見直し開始から6年経過した実績により, 今後数年は今年度と同程度の印刷枚数で対応する。 印刷枚数削減により予算削減がされたため, 今年度で事業完了とする。				
		計画変更(次年度以後)	取組内容	コメント					
		計画値							
評価	評価者	南條 洋介	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	事業目標を達成したため, 事業完了とする。					
	方向性	完了 (目的達成)							

H28

アクションプラン(平成28年度)

推進項目	91 その他				重要度	B	
番号・取組事業名	91002	学習サポート推進事業	作成日	H28.4.1	更新日	H29.3.31	
担当部署	270900	学校教育部 教職員課	責任者	菅原 英一	担当者	高橋 一夫	
	区分	取組内容・目標					
平成28年度	実施	各校のニーズや現状を把握し、サポート教員配置の見直しを図る。また、サポート教員の知識・技能向上に向けた研修の充実を図る。					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	サポート教員研修会			○		○	
2	平成29年度サポート教員募集				○		
3	平成29年度サポート教員採用選考					○	
4	サポート教員配置要望の回収及び平成29年度配置校選定						○
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	サポート教員研修会は、計画通り実施した。平成29年度募集については、市のホームページで案内し、事業の周知を図った。また、近隣の大学に対する広報も昨年と同時期に行った。サポート教員の配置要望、勤務状況等については、報告を求めている。		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	柏市学力学習状況調査(4段階評価の平均値)	計画値	単位 点 小3. 41中3. 39	実績値	単位 点 小3. 44中3. 43
		達成状況【成果】	一部達成	コメント	サポート教員の配置数が昨年度と比較し増加したため、小学校では少人数指導を受けている児童の割合が増加した。中学校では、数学や英語の少人数指導を担当できる人材が不足しているが、生徒指導体制の強化を図り、サポート教員を活用し、授業でのきめ細かい指導を重視したため、少人数指導を行っている割合は増加した。各校のニーズに応じた人材を派遣するための人材の確保に努めた。		
		進捗状況【活動】	進んでいる				
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント		
計画値	無						
評価	評価者	内田 守	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	学ぶ意欲と学ぶ習慣の向上を掲げ、学び作り事業に取り組んでおり、本事業はその中核である。サポート教員の配置数が昨年度と比較して増加しており、きめ細かな学習指導への支援に成果を挙げている。今後さらに、各学校のニーズを精査し、他の人的支援事業との関連を明確にして適切な配置に努めたい。			
	方向性	継続実施					

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	91 その他					重要度	B		
番号・取組事業名	91003	学校図書館活用推進事業			作成日	H28.4.1		更新日	H29.3.31
担当部署	270300	学校教育部 指導課			責任者	梅津 健志		担当者	岩田 将英
取組年度	H28	～	H32						
効果	その他改善								
最終目標	児童生徒の積極的な学校図書館活用を図ることを通して、「学ぶ意欲と学ぶ習慣」及び「学び続ける力」を育む授業に改善するため、学校図書館指導員を増員し、図書館活用の専門的な資質向上を図り、柏市内小中学校の学校図書館環境の整備及び活用の維持・向上を図っていく。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	実施	司書教諭と図書館指導員の連携を強化して、学校図書館を活用した授業の改善、読書活動の推進を行い、市内各校においてビブリオバトルと読書会の開催を推進する。							
平成29年度	実施	「柏市調べる学習コンクール」を開催し、授業における調べ学習を推進することを通して、学校図書館活用を目指す。							
平成30年度	実施	司書教諭と図書館指導員が連携して、中学校区単位で「育てたい子供像」を共有し、ビブリオバトル・読書会を取り入れた授業に改善することを通して、学校図書館活用を目指す。							
平成31年度	実施	司書教諭と図書館指導員が連携して、中学校区単位で「育てたい子供像」を共有し、各校における年間計画の改善を通して、学校図書館活用の推進を目指す。							
平成32年度	完了	司書教諭と図書館指導員が連携して、中学校区単位で「育てたい子供像」を共有し、「調べる」「読む」をバランスよく年間計画に織り込み、学校図書館活用の推進を目指す。							
成果指標	指標名	連絡便における市立図書館及び各学校間の流通冊数					単位	冊	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		小6,000・中4,000	小6,300・中4,300	小6,500・中4,500	小6,800・中4,800	小7,000・中5,000	小7,000・中5,000	
	実績値	小5,717・中3,638	小5,774・中3,269					0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
計	当初計画額	0	0	0	0	0	0		
	変更計画額	0	0	0	0	0	0		
	実績額	0	0	0	0	0	0		
見込まれる その他効果 (金額以外)		学校図書館指導員が1校に1人配置されることにより、課題解決型の授業が充実する。	学校図書館指導員が1校に1人、5日間配置されることにより、調べ学習が推進する。	学校図書館指導員が1校に1人、5日間配置されることにより、教員の教材研究の室が高まる。	学校図書館指導員が1校に1人、5日間配置されることにより、図書館活用における各校の課題の発見と解決にコミットできる。	学校図書館指導員が1校に1人、5日間配置されることにより、学校図書館活用が日常化される。	学校図書館指導員が1校に1人、5日間配置されることにより、学校図書館活用が日常化される。		

アクションプラン(平成28年度)

推進項目	91 その他				重要度	B		
番号・取組事業名	91003	学校図書館活用推進事業	作成日	H28.4.1	更新日	H29.3.31		
担当部署	270300	学校教育部 指導課	責任者	梅津 健志	担当者	岩田 将英		
	区分	取組内容・目標						
平成28年度	実施	司書教諭と図書館指導員の連携を強化して、学校図書館を活用した授業の改善、読書活動の推進を行い、市内各校においてビブリオバトルと読書会の開催を推進する。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	学校図書館指導員研修会の実施			○	○	○	○	
2	小中学校司書教諭研修会の実施			○	○			
3	子ども司書養成講座の実施			○	○	○	○	
4	市内小中学校学校図書館流通システムの運用			○	○	○	○	
5	柏市学校図書館活用事例集の作成						○	
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・上記「取組項目」1・2について、計画通り実施している。 ・取組項目3は、今年度、295名の児童生徒が参加している。7年で約1,600名の子ども司書が誕生する見込みで、全国一の規模の人数を誇っている。 ・取組項目5では、現在、各学校で執筆しており、3学期に編集を行う。 ・図書館指導員の活動報告から、おおむね計画通りに学校図書館活用が行われていることを把握している。目標値に向けた取組みも計画通り進捗していると推察する。 				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	連絡便における市立図書館及び各学校間の流通冊数	計画値	単位	冊	実績値	単位	冊
				小6,000・中4,000			小5,774・中3,269	
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	実際に活用している書籍の冊数を得るべく、学校現場に「読書記録」を導入した。実施初年であるので、全校で実施するのは困難であったが、小学校42校中30校、中学校20校中12校で完全実施、小学校8校、中学校3校が一部の学年で実施している。数値的には学校図書館での貸出冊数的には計画値を上回っている。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
	計画値	無						
評価	評価者	内田 守	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	学校図書館活用における、読書センターとしての機能については、ビブリオバトル及び読書会の実施が増加したことから向上したことがわかった。次年度以降は学習情報センターとしての機能の向上を図るため、柏市図書館を使った調べる学習コンクールを始めとする、授業改善の成果に期待している。				
	方向性	継続実施						